

「北の道ナビ」における 道路と観光の 情報提供について

独立行政法人 北海道開発土木研究所
道路部 防災雪氷研究室 主任研究員

山際 祐司(左)

独立行政法人 北海道開発土木研究所
道路部 防災雪氷研究室 研究員

松島 哲郎(右)



はじめに

北海道は豊富な自然環境を有しており、観光産業が北海道の主幹産業の一つとなっている。これらの観光産業において、雄大な自然を堪能するためレンタカー等によるドライブ観光が増加しており、道内観光者だけでなく、特に夏期においては道外及び海外からの観光客も非常に多い。しかし、北海道は本州に比較して都市間距離が約2倍もあり、道外ドライバーが感覚的に移動時間を短く見積もり、無理な行程で運転するなどの旅行者の声をよく聞く。

このような背景から、北海道においては、長距離のドライブ観光情報や冬期の道路情報など、観光と道路情報提供による交通事故の軽減や道路を活用した観光振興を、ソフト面から支援する必要性が非常に高い。

本稿では、北海道の道路情報総合案内サイト「北の道ナビ」における道路と観光の情報提供について述べる。

①「北の道ナビ」の利用状況

「北の道ナビ」(図1)は、北海道内の主要な道路管理者である北海道開発局、北海道、札幌市、日本道路公団北海道支社の監修のもと、平成11年7月より北海道開発土木研究所が運営を行っている。北海道の道路のポータルサイトとして管理者の枠を越えたシームレスでかつ、利用者のニーズを随時反映した情報提供を行うことで、道路利用の安全性や安

心感を向上させることを目的としている。

アクセス数(図2)は毎年増加しており、平成17年6月には累計トップページアクセス数は250万件を越え、平成16年度では1日平均約2,700件/日、平成17年のゴールデンウィーク期間中(4/29~5/8の10日間)では46,000件のアクセス数を記録し、情報提供

ポータルサイトとして着実に定着している。

「北の道ナビ」ではユーザーニーズを把握するために定期的にホームページ上でアンケート調査を行っている。第5回アンケート調査(平成16年11月9日~平成16年12月27



図1 「北の道ナビ」トップページ
<http://northern-road.jp/navi/>

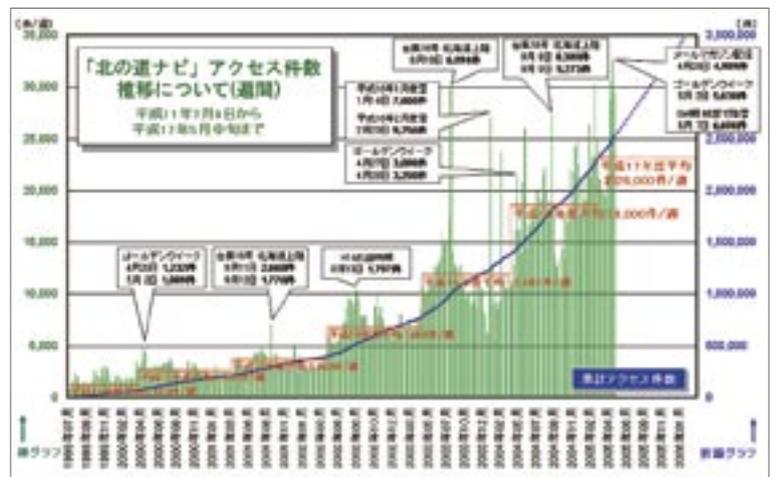


図2 「北の道ナビ」トップページの週間アクセス数の推移

日、回答数439名)における「北の道ナビ」の主な利用用途については、「観光・旅行・レジャー」が39%で最も多く、次いで「ドライブ」が29%、「仕事(業務)」が24%、「その他」が8%と、観光やレジャーのための利用が7割となっている。

②「北の道ナビ」における道路と観光の情報提供

「北の道ナビ」では、アンケート調査や利用者からの意見・感想、アクセス数をもとに利用者ニーズ分析を行い、各道路管理者の道路情報はもとより、道路利用に際して必要となる「気象情報」や「道路地図」、「季節毎のドライブ情報(道路・峠・道の駅・天気・観光・お役立ち情報)」、「北の道再発見(広域観光ルートの紹介等)」、「峠の画像等の「峠情報」、「距離と時間検索」、「北の道安心ガイド(防災・交通安全・冬道・バリアフリー関連情報)」等を提供している。特に、「距離と時間検索」は「北の道ナビ」のコンテンツでは最も利用数が多いコンテンツとなっている。

ドライブ観光を支援する「距離と時間検索」は、移動計画に便利な情報を提供すると同時

に、通過する「峠情報」、「道の駅」、「市町村」、「沿道の景観」等を提供しており、地域の活性化に寄与するものである(図3)。

「距離と時間検索」の利用回数は、平成15年度には1日平均1,650回であったが、平成16年4月から主要30都市間みの検索から、全道207市町村及び観光地や道の駅間の検索も可能とした詳細版も公開した結果、平成16年度は1日平均4,180回と大幅に増加した。平成17年のゴールデンウィーク期間中(4/29~5/8の10日間)には77,309回の利用があり、利用の多い区間は、札幌-函館、札幌・千歳・新千歳空港-富良野となっている(表1)。

月別の利用回数では7、8月にピークとなっており、これは、北海道のドライブ観光のハイシーズンとほぼ一致しており、道路利用者のニーズが顕著に現れている。利用者から「便利です」の意見も多く、観光地間及

表1 H17 GW期間中の距離と時間検索の利用の多い区間

順位	出発地	目的地	件数
1	札幌市	函館市	2,136
2	札幌市	富良野市	1,116
3	札幌市	旭川市	1,019
4	札幌市	帯広市	886
5	千歳市	富良野市	754
6	札幌市	稚内市	746
7	札幌市	釧路市	676
8	函館市	札幌市	667
9	札幌市	室蘭市	528
10	札幌市	小樽市	437
-	新千歳空港	各地(96地点)	1,847
-	新千歳空港	富良野・美瑛地区	内(400)

び市町村間の適切な移動時間を提供することにより、より安全なドライブ計画を立案するために非常に役立っていると言える。

また、距離と時間検索結果ページで、目的地や経路周辺の広域的な観光情報サイトへのリンクを掲出する「パートナーシップ・プログラム」により、パートナーサイトへのスムーズな誘導を図り、利用者ニーズに沿った情報提供を行っている。パートナーサイトからは「北の道ナビ」へのリンクを掲出してもらうことでアクセス性の向上を図っている。図3のように札幌市から釧路市までの検索結果ページに「釧路支庁の観光情報ページ」や「くしろ観光協会」ホームページのバナーを表示することにより、実際に道路利用者が必要としている観光情報を提供している。

現在、17件のパートナーサイトに協力していただいております。平成16年度のパートナーサイトへの総誘導数は3,853回で、最も多い誘導数のサイトは「人に帰る旅。知床 斜里町 商工観光課」で、753回となっている。



図3 距離と時間検索結果例

③ 北海道地区「道の駅」連絡会 ホームページとの連携

北海道のドライブ観光に欠かせない存在となっている施設のひとつに「道の駅」があるが、「北の道ナビ」では、北海道地区「道の駅」連絡会のホームページ「北の道の駅」(<http://www.hokkaido-michinoeki.jp/>) と連携を図っている。

「北の道の駅」では道の駅のイベント情報や道の駅特産品直売会へのリンク、周辺見どころガイド等、様々な地元観光情報を発信している。連携内容は、「北の道ナビ」へのリンクや各道の駅ページから予めその道の駅が目的地として設定された「距離と時間検索」ページのリンクを設置し、利便性の向上を図っている(図4)。



図4 「北の道の駅」の道の駅ページ

④ 「北の道ナビ」の携帯サイト

「北の道ナビ」の携帯サイトでは、「情報ダイヤル(道路交通情報センター、天気、

JAF、緊急病院)」や「距離と時間検索」、「峠情報」、「安心ガイド」等の提供や、関連サイトである「北の道の駅」、「路線情報」、「各道路管理者サイト」と相互にアクセス可能とすることで利便性を高めている(図5)。ドライブ中に情報を得たい場合、携帯電話から現在の道路状況や気象状況などが確認でき、パソコン版同様に、異常気象時や災害時など、道路の通行に支障が出る可能性がある日には、大幅にアクセス数が増加する傾向にあり、道路・気象の情報提供サイトとして活用されている。また、「北の道の駅」と連携して携帯サイトの広報を道の駅等で行っている(図6)。



図6 携帯サイトの広報チラシ

⑤ 今後の取り組み予定

インターネットによる情報提供は、日本国内だけではなく広くグローバルな対応が求められており、近年の海外、特にアジア圏からの観光客が増加していることを考慮し、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、英語の4言語について対応を行う予定である。内容は、海外の方が北海道観光に訪れた際、道路を利用する上での留意事項、特に冬期間の降雪時期における運転ガイドなどを掲載し、距離と時間検索においてもローマ字表記にて提供する。

また、移動中の道路利用者や観光客への情報提供を充実させるため、関連サイトと連携し、更なる携帯サイトのコンテンツ充実を図っていききたい。



図5 「北の道ナビ」携帯サイト(<http://n-rd.jp>) (左)とアクセス可能なサイト(右)